

## 日本腰痛学会評議員会議事録

開催日時：平成 17 年 11 月 18 日（金） 16：30～17：30

開催場所：シェーンバツハ・サポー 3F 会議室 議長：菊地臣一 会長

出席者：理事 7 名、評議員 23 名 委任状 22 名

### 会長挨拶

菊地会長より、第 13 回日本腰痛学会開催についての報告がなされた。

### 議事

#### I. 報告事項

##### 1. 庶務報告

###### 1) 会員の動向

平成 17 年 11 月 15 日現在の会員数は 915 名で、今年度の新入会者は 57 名、退会者は 71 名（物故会員 7 名）と報告があった。

###### 2) 事業報告

###### (1) 学術集会の開催

第 13 回学術集会が開催平成 17 年 11 月 19 日（土）シェーンバツハ・サポー（菊地臣一会長）にて開催予定である。

###### (2) 委員会報告

平成 17 年 11 月 18 日 東京に於いて理事会、評議員会が開催され、11 月 19 日には編集委員会が開催予定である。昨年の編集委員会の協議に従い医学中央雑誌刊行会との著者抄録利用許諾契約を行った。診断評価等基準委員会については日整会診断評価等基準委員会の担当者が宮本委員から高橋委員に交代した。

###### (3) 学会誌の発行

平成 17 年 9 月 30 日に第 11 巻 1 号を 1300 部発行した。投稿論文数は 33 編である、内容は一般投稿（英文 3 編含む）19 編、特別寄稿 3 編、学会の主題からの特集 3 編、特別企画 8 編である。

##### 2. 平成 16 年度優秀論文賞について

審査委員会による審議の結果、名古屋大学整形外科 酒井義人先生の論文 “Intramuscular oxygenation of exercising trunk muscle in elderly persons” に決定した。

#### II. 審議事項

##### 1. 平成 16 年度決算報告

配付資料に基づき決算報告がなされ、松崎監事より監査結果が報告され、承認された。

##### 2. 平成 17 年度の事業計画、予算案審議

学術集会の開催、学会誌の発行、委員会の開催予定および予算案が提案され、承認された。

#### 4. 次々々期会長の選出について

獨協医科大学越谷病院教授 野原 裕先生が推薦され承認された。

#### 5. 新役員、新評議委員について

新理事に野原 裕先生（獨協医科大学越谷病院教授）が推薦され承認された。土方浩美先生の任期満了による降任により、新監事として佐野茂夫先生（三楽病院整形外科部長）が推薦され承認された。評議員の交代では金田清志先生，宇沢充圭先生，吉良貞伸先生および山本博司先生の後任としてそれぞれ，伊東学先生（北大整形外科講師），斉藤正史先生（慶友整形外科病院副院長），武部恭一先生（武部整形外科リハビリテーション院長）および谷俊一先生（高知大学整形外科教授）が推薦され承認された。また新評議員として紺野慎一先生（福島県立医大助教授），田口敏彦先生（山口大学整形外科教授），土井田稔先生（神戸大学整形外科助教授）が推薦され、承認された。

#### 6. 新入会者について

非医師会者として鹿谷洋志先生（三菱重工長崎造船所病院リハビリテーション科），有福浩二先生（三菱重工長崎造船所病院リハビリテーション科），山口智先生（埼玉医科大学東洋医学科），石井美知子先生（港区のフィジオセンター勤務）が推薦され、承認された。

#### 7. 新入賛助会員について

日本新薬株式会社より申請があり、承認された。

#### 8. 学会のあり方、会員数増加のために

理学療法士などの非医師会員の拡大を目的として入会の規制，緩和のための条件に関するアンケートを，評議員を対象に行うことが決定した。

#### 9. 雑誌の統合について

学会誌作製の経済性を良くする，より多くの読者に講読してもらう機会を獲得するために，他の関連学会と雑誌の統合を図ることを提案され，米延理事を中心に前向きに検討することとなった。

### III. 次期会長挨拶

第 14 回日本腰痛学会会長として馬場久敏先生（福井大学医学部整形外科教授）が挨拶され、  
会期は平成 18 年 11 月 18 日（土）、福井商工会議所（福井）にて開催予定の旨が報告された。  
第 15 回日本腰痛学会会長として米延策雄先生の挨拶があった。